

【基本編】

ステップ4 対等節－単文＋対等節として話をつなぐ

対等接続詞

対等接続詞

(それは) 止みました 雨が 先ほど←1、そして 太陽が 輝きました 大空に 再び←2

私達は ~見に行きます F-1 レースを 開催される 鈴鹿サーキットで←

勉強しなさい 人一倍←1、そうすれば あなたは ~入ることが出来ます 良い会社に←2

しましょうか 私達は 行く 買物に←1 または 出かける 遠くに 車で←2

私の息子は 専攻しています 心理学を←1、すなわち・言い換えれば~だ 科学 心の←2

気をつけなさい あなた自身を どんな時でも←1、

さもないと あなたは かもしれません 病気になる いつか←2

私は 思いました その話が である 事実←1、

しかし それは ではなかった 事実 彼らの証言から←2

対等接続詞

It stopped raining some time ago **and** the sun was bright in the sky again.

We **go and see** the F-1 race held at the Suzuka Circuit.

Study harder than other people **and** you can enter a good business firm.

Shall we go for shopping **or** go out in the distance by our car?

My son is majoring in psychology, **or** the science of the mind.

Take care of yourself at any time **or** you might get sick someday.

I thought the story was true, **but** it wasn't true from their testimony.

(それは) です 確か (という)のは 犬は である かわいい(性質)←1、
だが 世話をすることは 犬を です 非常に難しい←2

私の娘は に違いない かしこい←1、
というのは～からだ 彼女が ～解いた 10 もの問題を 5 分以内に←2

(それは) です 非常に寒い 今日一日←1、
だから 私は ～着たい 厚手のオーバーコートを←2

ニンニクも玉ねぎも両方とも あります 強いにおいが←1、
しかし 私の父は ～食べます それらを 健康のために←2

セミナーは 開かれます 東京ではなくて横浜で 都合により←

問題は ではなく (のは)何か リサが した それを←1、
だ (のは)なぜか 彼女が した それを←2

It's true that dogs are cute, **but** looking after dogs is very difficult.

My daughter must be smart,
for she solved as many as ten problems within five minutes.

It is very cold all day today, **so** I want to wear a thick overcoat.

Both **garlic** **and** onion have a strong smell,
but my father eats them for his health.

The seminar will be held not in Tokyo **but** in Yokohama for convenience.

The problem is not what Lisa did it, **but** why she did it.

このゲームは ます おもしろいだけでなくしかもためになる 子供たちにとって←

私の母は だけでなく ～弾く ピアノを←1、 ～も弾きます バイオリン←2

リサは 見えます のように not only 彼女が である 歌手かテレビタレントかのどちらか←

あなたは しなければならない その答えを告げるか何も言わないかのどちらかに←

残念ながら 私は とわかった マリの手帳も彼女のメモもどちらもない ここに←

悠太は 認めてもいないし否定もしていない ということを 彼が ～言った 嘘を←

This game is not only interesting but also instructive for children.

My mother not only plays the piano, but also plays the violin.

Lisa looks as if she were either a singer or a TV talent.

You must either tell the answer or say nothing.

Unfortunately I found neither Mari's notebook nor her memorandum here.

Yuta neither admits nor denies that he told a lie.